

ご注意ください

英国の道路研究所で表面の滑り抵抗を測定する目的で開発されたもので、日本道路公団、日本道路協会等が調査に採用しています。しかし現場での設定方法が困難であり、測定の状態、測定環境下の温度・湿度等の係数を入力する計算式を採用するため、現場条件等により数値のバラツキが発生し、又測定者の読み取る角度による数値読み取り変動も発生する（この試験機は基本的に車との対応を考慮した設計となっているので、人間の歩行時の動作の滑り基準に適用するには注意が必要）



英国式振り子試験機 単位＝BPN

※ J I S 規格では、以下のように標記されています。

現在、床タイルの施工現場において簡易測定が可能である ASTM E 303 に規定される英国式ポータブル・スキッド・レジスタンス・テスターで測定する BPN 値については、各自治体の施設整備マニュアルなどに採用されていることから、併載を検討したが、測定方法、基準値ともに ISO 規格、JIS に盛り込まれていないこと、本来、**BPN 値が車道（アスファルト）に対する測定値**であり、車道に床タイルを施工する場面が少ないこと、C.S.R 値及び C.S.R・B 値との相関性も確認されていないことなどから、BPN 値の拙速な導入は混乱をきたす可能性があり、今回は BPN 値を盛り込まず、今後、適用の可否を見極めるための十分な検証によって、業界内において認知されることを期待した。